

会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回上尾市図書館協議会	
開催日時	令和5年2月20日（月）午後1時30分から午後2時45分まで	
開催場所	上尾市図書館本館2階 集会室	
議長(委員長)氏名	代島常造	
出席者(委員)氏名	須賀聡、北村悦子、岸清俊、山田浩一、佐々木智美、加藤寛子、大谷内久美子、代島常造、若松昭子、高村裕美	
欠席者(委員)氏名	宮内礼子、清水松代	
事務局(庶務担当)	山内館長、久我副主幹、中島主査、吉川主査、中里主任、鈴木主任、岩崎主任、岩田主任、若林主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	(1) 報告 ①令和4年度第3次上尾市図書館サービス計画等の進捗状況について (2) 議題 ①第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要（案）について ②利用者モニタリング調査の実施について	別紙「議事の経過」のとおり
議 事 の 経 過	別紙「議事の経過」のとおり	傍聴者数 4名
会 議 資 料	資料1 令和4年度第3次上尾市図書館サービス計画等の進捗状況について 資料2 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要（案） 資料3 利用者モニタリング調査の実施について	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和5年3月29日</p> <p style="text-align: right;">令和5年3月29日署名済み</p> <p style="text-align: center;">議長（委員長）の署名 _____</p>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	報告① 令和4年度第3次上尾市図書館サービス計画等の進捗状況について【資料1】
議長	報告①について意見、質問はあるか。
A委員	2項目目「学校の授業をきっかけに読書が広がる本のセット」事業について、希望校15校に貸し出しを行ったとあるが、希望校は何校あったのか。
事務局	小学校22校のうち、「スイミー」15校、「ごんぎつね」14校、「せんねんまんねん」13校の応募があり、各5校が当選となった。
B委員	3項目目(3)レファレンスカウンターの設置について、当初、どの程度の利用を想定していたのか、また、資料案内23件、レファレンス5件とあるが、この件数は想定どの程度の割合になるのか。
事務局	レファレンスの周知のために始めた取り組みで、利用回数の想定まではしていなかったが、デスク以外を含め全体として35件程のレファレンス件数だったことから、これをベースに考えるとその1割程度であれば妥当であると考えている。今後もレファレンスサービスの周知をし、利用促進を図る。
B委員	想定はしていなかったということであるが、デスクの広報活動が必要であると考えている。 もう1点、3項目目(6)ブックスタート事業について、4カ月検診時の絵本の配布の予定数と配布できない家庭への対応はどのようになっているのか。
事務局	今年は読み聞かせが行えなかったため、保健センターと協力し、検診に来た家庭全員に配布した。4カ月検診に来られない家庭については、その後検診に来た際に配布しているため、毎年9割5分以上配布している。 (異論なし)
事務局	議題① 第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)について【資料2】
議長	議題①について意見、質問はあるか。
A委員	「1.1.図書館資料の収集等」(2)と「2.3.情報検索サービス等」(1)はいずれも“郷土資料のデジタル化”と同じ計画になっている。内容が似ていても目的は違う形にするべきと考える。 また、全てをデジタル化するのは難しいと考えるので、目次だけでも全部デジタルにしてみてもどうか。国立国会図書館のデジタルコレクションでは『上尾百年史』、『史跡ある記』等はすでにデジタル化されている。同じものをデジタル化しても仕方ないので、上尾市図書館のホームページから国立国会図書館に繋がる、わかりやすいバナーを設けると良い。『上尾市史』など、写真や著作権の問題があるものについては目次だけでもデジタル化するなど柔軟な考えで取り組んでいただきたい。
事務局	限られた予算の中で、キーワード検索ができるなどの機能をつけることで有効

	活用してもらえらるものを考えていきたい。
事務局	<p>補足であるが、これは令和 5 年度の政策企画提案制度で採択されたものである。委員の指摘の通り課題も多いと認識しているが、国立国会図書館のアーカイブの利用もこの取り組みに含めていく。</p> <p>今回のデジタル化の特徴としては、電子図書館向けの EPUB という形式を採用し、例えば文字の大きさを変えてもページの割り付けがすぐ行えることや、キーワード検索機能が優れているものを取り入れたいと考えている。このような取り組みの中でより多くの情報発信ができればと考えている。</p>
A委員	1.1(2)と2.3(1)で同じ計画となっていることについての答えは。
事務局	同じ表現を用いているが意味合いが違うもので、1.1(2)については、あくまでも資料として郷土のデジタル資料を拡充していきたいということ、2.3(1)は、情報検索サービスとして、より市の歴史を検索しやすくすることを目的としている。ご指摘の内容を踏まえ表現を少し変えていきたいと考える。
議長	事務局に確認であるが、情報検索ができるようなデジタル化を図るという意味で2.3(1)にも挙げたということか。
事務局	お見込みのとおり。単純にPDF等での電子化は可能だが、その場合、例えば『上尾市史』など、10巻あり1巻あたり何百ページにもわたるため、欲しい情報を検索することはとても難しい。今回目指しているのはキーワード検索ができる仕組みを含めており、そういう観点から情報検索と捉えており、1.1(2)とはニュアンスが違っていると考えている。
C委員	小学校の立場からの意見であるが、「3.4.子供の読書活動支援」(3)について、来年度は重点施策として展開するという説明を聞き、大変ありがたいと感じる。今、学校の授業では読み物教材と読書は並行していくので、報告では各5セットということであったが、数を増やし希望する学校には100%提供できるようにして欲しい。
事務局	この本のセットは学校に提供するのと同じ時期に、図書館にも同じものを置いてあり、学校の支援員や司書教諭の方が見られるようになっている。また、学校図書館の支援員研修の講師を行う際に、リストを渡し、セットが行き届かなかった学校においては学校団体貸出等で利用できるようにしている。
D委員	<p>環境アドバイザーの観点からの意見であるが、LED化の取り組みについて、ポスター等でアピールを行った方が良いと考える。</p> <p>また、電子書籍も環境の観点からとてもいい取り組みであり、「3.5.若者の自立支援」(2)の駅前分館の青少年コーナーの整備の際には、青少年により多く利用してもらうために、PRを行うと良い。</p>
事務局	来年度は駅前分館に青少年コーナーを設置することを強化対策としているので、その際にはPRしていきたい。
副委員長	「1.2.図書館資料の組織化」(2)について、NDC分類による排架との差別化とは具体的にどのようなことか。
事務局	来年度設置予定の「りんごの棚」に置く大活字本と、本館、大石分館の大活字本コーナーにある大活字本をどのように区別するか、また、本館展示と「りんごの棚」に置く資料をどう区別するかを考えている。

副委員長	特に分類を変えるわけではないということか。
事務局	お見込みのとおり。
副委員長	「2.8. 高齢者サービス」(1)について、セカンドライフコーナーの今の状況は。また、(2)「まちづくり」連続講座の開催について、内容として目指しているものはあるのか。
事務局	現在、本館に設置のセカンドライフコーナーは分かりにくいと認識している。アクティブシニア向けの資料を今年度は増やし、PRをしていこうと考えている。連続講座については、1回切りで終わるものではなく、可能であるならばグループワークを取り入れ、また、複数回行うことで仲間づくりができ、まちづくりに繋げられるような講座を考えている。
副委員長	セカンドライフコーナーはあまり周知されていないように感じるが、高齢者は増えているので、セカンドライフコーナーの存在をもっと周知することで利用者も増えると考え。ぜひ充実させて欲しい。
B委員	「1.3. 貸出し」(1)について、令和4年度に500点増加し、令和5年度に520点が利用期限を迎えるとあるが、この520点はなくなるのか。「維持する」とあることから、これに加えて50点増となるのか。
事務局	電子書籍の購読(契約)方法は、買い切りタイプと回数制限タイプの2通りあり、52回貸し出しか2年間の経過でライセンスが切れる。令和5年度に約520点のライセンスが切れる見込みで、単にこの520点を維持していくのではなく、減った分の冊数分は確実に入れ替えを行い、更に一定の冊数を増やし維持するという趣旨である。
B委員	維持され、さらに加えて50冊という理解で良いか。
事務局	良い。
B委員	もう1点、「3.8. ボランティア活動支援」(2)について、「コロナ禍で感染拡大防止に留意」とあるが、今後留意しながら大きく変更していくのか、それとも従前の状態に戻すのか、見通しは。
事務局	コロナ禍でボランティアの方の活動の場がなかったため、改めて声がけをし、ボランティアに参加してもらおうと考えている。一方で、このコロナ禍でボランティアの方の意欲が低下し人数も減ってきている。来年度はボランティアの要請講座を含めたものを考えていく。
B委員	従前に戻すとしても、対応してもらえるボランティアの方も居ないということも考えられる。計画的に進めていただきたい。
E委員	「3.2. 児童サービス」(1)読書パスポートについては、引き続き継続して欲しいと考えているが、目標の冊数がずっと高いところにあると感じる。少し目標を下げて良いのではないか。
事務局	300冊を達成すると、表彰され、新しい読書パスポートをもらうことができる。多い子では6年間で6,7冊達成する子もいれば1冊にも達成しない子もいる。おはなし会に参加することでパスポートにスタンプを押してもらうという活用方法もあり、スタンプが10個貯まると王冠シールをもらえる。また、コンクール

	<p>については、パスポートの中にある「マイスターシート」に感想を記入した児童のうち各学年1人ずつを優秀者として学校ごとに推薦し、年1回表彰を行いその作品をホームページで紹介している。今後も様々な工夫を考えていく。</p>
F委員	<p>郷土資料のデジタル化についてであるが、GIGA スクール構想で各生徒・児童に1台パソコンが配布されているが、フィルターの制限が厳しいという話を聞く。生徒がたどりやすい設定にして欲しい。</p>
G委員	<p>様々なサービスについては限られた中で努力しているのが目に見えているが、一方で上尾市人口23万人都市のわりに施設のキャパが狭いと感じる。現状の図書館のままで良いのか。新しい図書館へ向けた目標があれば良いと感じる。</p>
事務局	<p>「4.4.施設・設備」(1)で本館の更新についての方針案の作成を目標に掲げ、令和5年度に向けてどんなサービスを提供していくかなど、市民の皆様と考え、進めていきたいと考えている。</p>
H委員	<p>読書パスポートへのスタンプについてであるが、月に1回児童館で行っているおはなし会の参加者にも押ししても構わないのか。</p>
事務局	<p>児童館には児童館デザインのスタンプを作成し置いてあるので、参加した方には押しして欲しい。えほんのきろくもあるので、0歳から押すことができる。</p>
議長	<p>本議題については、以上で良いか。</p> <p>(異論なし)</p>
事務局	<p>議題② 利用者モニタリング調査の実施について 【資料3】</p>
議長	<p>議題②について意見、質問はあるか。</p> <p>(質疑無し)</p>
議長	<p>本議題については、特にないということよろしいか。</p> <p>(異論無し)</p>
議長	<p>それでは以上で予定していた議事を終了とする。議題①第3次上尾市図書館サービス計画の次年度事業計画概要(案)については、この場で協議し、案として決定したと取り扱わせていただく。</p> <p>以上とする。</p>